

令和5年1月10日

関係者・地域住民様

兵庫県立尼崎小田高等学校
校長 伊藤 聖二

在宅療養ワークショップ

～「人生の最期は自宅で『自宅はいい』を支える在宅医療・介護の充実を」～（ご案内）

新春の候、皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は本校の教育活動ならびに「看護医療・健康類型」の活動にご理解をいただきありがとうございます。

高齢者のうち、約6割の人が人生最期まで自宅で暮らし続けたいと考えています。一方で「ホントに大丈夫かな？」と、漠然とした不安を抱えている方も多くいらっしゃると思います。

そのような疑問に答えるために、「看護医療基礎」選択の21名が、尼崎市医療・介護連携協議会の支援を受け、在宅療養について学んできました。その学んだ内容を地域住民の方に発表すると共に「これから先の人生を見つめ直す」、そんなワークショップを開催します。

病気になって高齢になっても、最期まで自分らしく自宅で暮らすために、在宅療養を多職種が支える体制や選択肢があるということを知っていただくとともに、人生最期をどのように迎えたいかを本校の「看護医療・健康類型」の生徒と一緒に学び、考えていただけませんか。ぜひ、多くの方のご参加をお待ちしております。

記

- 1 日 時 令和5年3月4日(土) 9:30～11:45
- 2 実施場所 園田東生涯学習プラザ（3階ホール）（尼崎市食満5丁目8番46号
阪急園田駅から北西へ徒歩16分
- 3 時 程
9:00～ 受付
9:30～9:40 開会行事
9:40～10:10 劇・録画鑑賞「人生の最期は自宅で『自宅はいい』を支える在宅医療・介護の充実を」
10:10～10:20 休憩
10:20～10:40 「なんじゃもんじゃゲーム」・「面白い名前」をつけて大爆笑できるカードゲームです。
記憶力を試みましょう。
10:40～11:15 「もしバナゲーム」自分の最期について考える！（メインゲームです）
11:15～11:25 尼崎市医療・介護連携協議会からのまとめ、閉会行事

終了後に以下のテーマで「尼崎市 支え合いを育む人づくり支援事業」の報告があります。本校は、兵庫県立大学、大学院減災復興政策研究科の先生や学生、院生の皆さんと尼崎で「防災・減災を通じた地域コミュニティづくり」に取り組んでいる関係上、この場所での報告を設定しました。ぜひ、お聞きください。

「兵庫県立大学防災リーダー教育プログラム」の報告

11:25～11:35 ファッションを通じた地域防災力向上への貢献

11:35～11:45 阪神・淡路大震災の教訓を小学生に伝える試み

4 注意事項、お問い合わせ先

コロナウイルス感染症対策のため不織布マスクの着用をお願いします。

中止の場合は3月3日（金）午後5時までに本校のホームページに掲載します。

兵庫県立尼崎小田高等学校 看護医療・健康類型長 福田秀志

TEL:06-6488-5335 FAX:06-6488-5337

兵庫県立尼崎小田高等学校HPアドレス <https://www.hyogo-c.ed.jp/~amaoda-hs/>

